

### 2025 年 3 月のブルーベリー農園その 3

彼岸が来ていい天気が続くようになり、春の雪が降ったかと思うと気温も 17 度くらいにまで上がってきたりする早春。気温が上がるとスギ花粉も多くなり鼻のむずむずが来るなどの変化に体がついていくのがやっとの中東広島市豊栄町のブルーベリー農園に安芸区の自宅から通い続けている。

3 月 14 日（金） ブルーベリー畑で剪定をしてそろそろ終わりにしようと片付けをしていると里山でキジの鳴き声が聞こえた。このあとブルーベリー畑の上を飛んで行ったのを眺めた



小さい畑にあるウメの蕾は少し膨らんでいる

3 月 19 日（水） 春の雪が降った。農園にもうっすらと雪が積もった



午後 2 時ころには雪もすっかり消えた



3 月 20 日（木） 真ん中のブルーベリー畑の剪定を続ける。剪定がすんだらブルーベリーの落ち葉かき集めて株元に敷いてやる



《2025 年 3 月 23 日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》



ブルーベリーの剪定と同時に株元の土をほぐしたり、増し土をしてやる。土はもみ殻、ココチップ、野焼きした炭を混ぜた



3月21日(金) 剪定作業の合間にたまったブルーベリーの枝を野焼きする



畑の地べたにはスイセンの蕾が伸びてきている



里山あたり

① 里山のエビネの花芽も地べたから顔を出してきた。先ちょを指でつまんで花の塊が中にあるかどうか

か確かめる。ごつごつとした感触があってちゃんと中で花が作られていた



② ブルーベリー畑の道を挟んだ休耕田にイノシシが掘り起こした土が枯草の中でくっきりと見える



③ ヤブツバキがちらほら咲いている



帰り道の田んぼにキジがいるのを車の中から見やりながら帰途についた

2025年3月23日

社会福祉法人安芸の郷

理事長 遊川和良